

6. 本時の指導目標 (6/11)

三角形を倍積変形や等積変形する操作活動を通して、既習の求積公式を用いて三角形の面積を求めることができる。

<評価規準>

【数学的な考え方】 既習の図形に変形して、三角形の面積の求め方を考えることができる。

【知識・理解】 三角形は既習の形に直すことで、式化して面積を求めることができることを理解する。

課程	学 習 活 動	児童への支援 (※) 及び評価 (◇)
つ か む	<p>1. 問題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>三角形の面積の求め方を考えよう。</p> </div>	<p>※平行四辺形の学習で行った操作活動の足跡（等積変形や倍積変形したもの）、面積の公式、「底辺」と「高さ」を掲示しておく。</p> <p>(T1) ※長方形や平行四辺形に変形してみようという意欲を持たせるために、掲示物を示す。            ※操作の見通しを持つために、考えが持てた児童に方法を発表させ、全体に広める。</p> <p>(T2) ※学習の見通しをたてることに配慮を要すると予想される M 子 S 男に学習の手がかりを確認する。            ※発表内容について理解を確認する。</p>
ふ か め る	<p>C : 平行四辺形の時と同じように形を変えればできそう。</p> <p>2. 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>三角形の形を変えて、面積を求めよう。</p> </div> <p>3. 操作活動をして、自分の考えをプリントやノートにまとめる。</p>	<p>※補助線を記入し、考えがまとめやすい穴あきプリントと切り取って操作できる三角形のみのプリント2種類用意する。</p> <p>(T1・T2)・机間巡視し個別指導            ※&lt;予想されるつまずきとてだて&gt;            ・どのように変形させてよいか分からない            →切り取った三角形を2枚渡し180°回転させると平行四辺形が作れることを一緒に操作してみる。</p> <p>(T1・T2) 個の取り組みの様子を類別交流し意図的指名に活かす。</p> <p>◇&lt;評価規準B&gt;            三角形を長方形か平行四辺形に等積変形し、面積を求めることができる。(プリント、ノート)</p>
ま と め る	<p>4. 交流し、まとめる。</p> <p>C : 等積変形をして長方形や平行四辺形にする。  <math>式 2 \times 8 = 16</math>      答え <math>16 \text{ c m}^2</math></p> <p>C : 倍積変形をして長方形や平行四辺形にする。  <math>式 8 \times 4 \div 2 = 16</math>    答え <math>16 \text{ c m}^2</math></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>三角形の面積は平行四辺形や長方形に直すと求めることができる。</p> </div> <p>5. 自己評価をする。            ・ノートにまとめ、評価カードに記入する。</p>	<p>(T1) ※「補助線を引く」「つなぐ」「切る」などのキーワードを使い説明できるように、キーワード一覧表を黒板に掲示する。</p> <p>(T2) ※出された考えを、平行四辺形か長方形か、等積か倍積かが分かるように構造的にまとめていく。</p> <p>○意図的に指名し、発表者の筋道立てた話し方や相手を大切にされた聞き方のよいところを広める。</p>